

市民公開講座「もっと知ろう 肺がんの話」Q&A

平成24年9月1日開催の市民公開講座「もっと知ろう 肺がんの話」でいただきましたご質問にお答えいたしますので、ご参考になさってください。

胸腔鏡手術にて肺全体の1/6程切除しましたが、何となく肺活量が少なくなったようで呼吸があがるように思うのですが、気のせいでしょうか？
また、運動によって改善するのでしょうか？

肺活量は切除肺の分減っているのですが、程度には差がありますが(通常は)手術前より人によっては呼吸に困難を感じることもあるでしょう。しかし、1/6切除くらいでは日常生活上それほどの困難はないと考えます。
運動したり呼吸訓練をすることによりいくらか症状が改善する見込みはありますが、主治医とよく相談してください。

がんの転移があっても原発部位の薬を使って治療をするというが…
原発が肝臓で肺への転移がある場合、肝がんの治療薬を使用し、肺がんにも効果があるのでしょうか？

肝がんの肺転移には肝がんの治療薬を使用します。
乳がんの肺転移には乳がんの、大腸がんの肺転移には大腸がんの治療薬というように、もとのがんによく効く治療薬を使用します。

→肺がんのページはこちら

個々の病状などについてのご質問に関しましてはそれぞれの担当の医師にお尋ねくださいますようお願いいたします。また、今回は肺がんの講演会でしたので、それ以外の病気についてお知りになりたい方は「がん相談支援センター」などでご相談ください。

→がん相談支援センターのページはこちら